

木材価格市況標準相場

令和5年10月3日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	5
南洋材・中国材	1
米材製品	4
(2) 値下げ品目	3
東海材	3

○今月の市況動向

9月の商況は、荷動きが低調な状態が続いているが、8月に比べ多少動いたとの報告が多かった。価格が据え置きでも、強保合の品目が増加した。

(国産材) 荷動き不振が続いていた構造材では、少しずつ回復している。輸入材のコストUPが影響している。原木価格についても、上昇している報告もあった。役物関係は厳しい状況が続いている。

(輸入材) 中国木材さんの受注制限の影響で、米松製品が値上がりとなった。供給不安による仮需と思われるが、代替品を含めて供給を見極める必要がある。他の品目も円安の影響によるコストUPが続いている。役物については、広葉樹、針葉樹共に、現地は強い内容であった。

(合板) 国内針葉樹合板は、メーカーの減産で価格維持は唱えているが、雰囲気的には良くない。輸入合板では、需要に迫力は感じられないが、欠品アイテムから価格UPが予想される。